

# 地域防災CPX訓練支援に成果

隊友会習志野支部

隊友会習志野支部(支部長;柚木文夫)は、平成28年11月23日、習志野市秋津地区防災会(7個町会自主防災会の連合組織)の、CPX方式による防災訓練を支援した。

支部はかねてより、自衛隊勤務の経験・知識を活かした隊友会ならではの地域奉仕の道を模索し、その一環として防災訓練にCPX方式の導入を提案してきた経緯があり、今回、秋津地区防災会会長・野本三蔵君(隊友会会員)の積極的企図心により実現したものである。支部としては、本CPX支援の経験を、将来の市・県レベルの防災CPX訓練参加の足掛かりにしたいとの思惑もあり、申し入れを快諾し、訓練計画作成の段階から積極的に支援した。

訓練は、秋津小学校体育館を会場として、秋津地区の各町会防災リーダー約70名が参加して行われ、巨大地震発生直後からの逐次の状況付与に基づく各町会リーダー及び地区対策本部の情報収集、判断、処置の要領について、約3時間にわたり演練した。隊友会は、支部長以下9名が統裁部要員(コントローラー兼アドバイザー)として参加し、各町会をそれぞれ分担し、状況を逐次に付与するとともに、判断、処置の一つ一つを具体的に、対話形式で誘導、助言した。なお、習志野市危機管理監・太田清彦氏(隊友会会員)には、統裁部要員の一人として参加いただくと共に、準備段階から終始を通じ助言・協力をいただいた。

訓練終了後、秋津地区各町会の訓練参加者から、「よく理解できたので、訓練に熱が入り楽しかった」「今までの防災訓練と違い、防災意識が大いに啓発させられた」「自衛隊での経験知識豊富な隊友会の方が同じ団地に住んでいると思うと心強い」などの所見が寄せられ、隊友会会員一同、この種訓練に参加の意義を改めて確認し得たことを喜びとする。

## CPX 訓練実施計画の骨子

- 1 訓練の目的  
秋津地区の防災リーダー等を対象に、震災等発生時の指揮要領を訓練し防災リーダーの災害対処能力の向上を図る。
- 2 実施日時  
平成28年11月23日 9時～12時
- 3 参加者  
(1)秋津地区自主防災会(各町会防災リーダー等)  
(2)隊友会習志野支部
- 4 訓練実施要領  
(1)災害想定;0830 M7.3地震。当市で震度6強  
(2)訓練の流れ
  - ・事前研究(0900～);担当統裁要員との擦合せ
  - ・第1状況(0940～);安否確認・被害者救出
  - ・前段検討会(1025～)
  - ・第2状況(1100～);情報収集・報告・通報
  - ・総合検討会(1135～)

## CPX 訓練統裁要領の骨子

- 1 統裁部としての目標  
地区自主防災会のCPXを円滑に実施し、教訓事項等が導き出せるような訓練となることを目標とする。
- 2 統裁部要員の役割  
状況付与及び防災リーダー等への助言
- 3 統裁部の編成  
統裁部長の統制下、地区対本及び各町会防災会を統裁部要員各1名が専従で分担担当
- 4 状況付与要領  
統一計画に基づき、各統裁部要員が付与カードで付与すると共に、丁寧に所要の説明。
- 5 統裁要員の助言の基本的考え方  
(1)決心を躊躇する際は、選択肢等の助言  
(2)指示等が曖昧な際は、質問等で要素を補完  
(3)出てきた「判断・処置」は、あくまで尊重  
(原案を強制しない)



状況付与中の災害現場



状況を検討中の町内防災本部